

大原山報



大原山主
戒譽信玄

自利利他の功德

西福寺の現在修復中である御影堂建立当時、大施主大檀那として多大な尽力をしてくださった北前船船荷問屋、山本傳兵衛(あみや)さんの功績は計り知れないものです。山本傳兵衛(あみや)さんの先祖は近江商人であり、何よりも初代のお墓が西福寺に祀られており、信仰心が篤く、熱心な念佛者として今日も脈々とその想いが受け継がれております。

近江商人の心情であり生きざまでもある「売り手よし・買い手よし・世間よしの三方よし」と言う言葉をご存知でしょうか。

売り手・買い手・社会全体の喜びであること。売り手の都合だけで商いをするのではなく、買い手が心の底から満足し、さらに商いを通じて地域社会の発展や福利の増進に貢献しなければならぬと言う近江商人の思想・行動哲学です。

世間では、報酬のことを「利益」と呼んでいます。しかし、近江商人は、「利益が得られるのは、自分以外の利益を考えると言う基本的な心の行」であることを、商売の



※越の秀嶺
物願所
骨佛の寺
勝運の寺

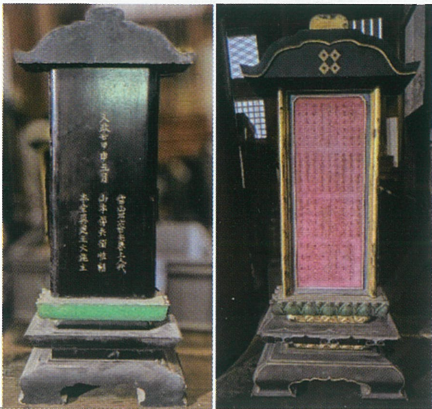
西福寺

真髓として佛教から学んだのです。そして、よく働き、質素儉約、正直に誠実に商いをしたのでです。

他人に利益を与えようとする心の行をすれば、自ずから利益が返ってくる。これは佛教で説くところの「自利利他の功德」と言います。

利他の心とは、佛の心です。佛心をおこして全ての人々を救おうとする行いをする人を「菩薩」と言います。つまり、「商売は、菩薩行である」と悟った近江商人は商売を佛教から学んだのです。

菩薩の行をする人は、人から信用される。これを実行して成功した近江商人は勿論、熱心な佛教信者であり、熱心な念佛信者であったのです。他人の為に汗をかき、他人



御影堂に祀られている山本家の位牌「文政七年甲申五月 當山世六世光譽上人代 山本傳兵衛惟朝 本堂再建之大施主」の裏書あり

の利益になることを常に考えて、商売をするこの行為が自らの徳を積むこととなり、近江商人は大いに栄えたのです。

商屋の主
人を檀那と

呼びます。檀那とは施し、布施をする人と言います。恵み与え、広く行き渡らせる事が出来る人のことです。特に佛・法・僧の三宝に布施する人を檀家と呼ぶのです。布施とは、あまねく施す。梵語で檀那(ダーナ)と呼び、法施(ほうせ)・財施(さいせ)・無畏施(むいせ)があり、『施しは、誰に何をの心捨て』と申すように、困ってられる方がおられたら、手を差し伸べるのも布施です。己を忘れて他に利することが施しです。

布施とは本来、往生浄土の願行(布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧の六波羅蜜行)ですから、大事なものは見返りを要求してはいけませんし、布施したものに執着があつてはならないのです。布施させていただくのです。

しかし、我々凡夫は情けないかな、自分だけの利益を追い、自分さえよければ良い、自分中心でしか物事を考えることが出来ない不徳の凡夫であります。そんな迷いの凡夫を正してくださるのは、佛の教えしかないのです。お念仏の生活をする事が菩薩の行に繋がるのです。

おかげさまで御影堂の修復工事が本格的に始まって三年たちました。建立当時の住職や多くの関係者がまさに菩薩の行として努力してくださったのです。それを思うと、今を生き生かされている私どもは、先人の尊い想いを受け継ぎ、何としてもこの大事業をやりとげねばなりません。

何が大切なのか、今何をすることが出来るのか、難儀もお陰と噛み締めて、お念仏の中に、今を力強く生き生かさせていただきましよう。

合掌

※徳川御三家・御三卿、越前・会津(松平家)の方がご住職となられた寺は『秀嶺』と呼ばれる。

寺 務 所 通 信

今後の行事予定

【別時念佛 法話の会】 五月三日(土)十四時

【御忌会】 五月二十四日(土) 二十五日(日)

【奉賛会総会】 五月三十一日(土)十四時

【別時念佛 法話の会】 六月三日(火)十四時

【別時念佛 法話の会】 七月三日(木)十四時

【暁天講座】 八月三日(日) 四日(月)各朝六時

【大寄法要】 八月八日(金)〜九日(土)

毎月更新中
山主『今月の言葉』
西福寺ホームページ



寺務所報告

十二月十七日 敦賀ハーバーラジオ出演

十二月十九日 御影堂修理工事関係者定例会

十二月三十一日 除夜の鐘

一月一日 修正会

一月二十一日 御影堂修理工事関係者定例会

一月三十日 滋賀県神崎組団参

二月三日 開山忌

二月六日 阿弥陀堂一部雪による破損

二月二十三日 原地区ふれあい会館起工式

二月二十五日 文化庁耐震指導

二月二十六日 御影堂修理工事関係者定例会

三月三日 別時念佛法話の会

三月十四日 文化庁指導

三月二十日 春彼岸会・涅槃会

三月二十七日 御影堂修理工事関係者定例会

三月二十八日 責任役員会議・御影堂見学

三月末日 総門の補修

四月二日 敦賀市文化交流部

四月三日 織田一宏部長・西川明德政策幹来寺

四月十六日 別時念佛法話の会

四月二十五日 株日本 PS 新入社員研修会

御影堂修理工事関係者定例会

大原山アルバム



4月16日、4回目の株日本 PS 新入社員研修会。数珠の扱い方をはじめ、阿弥陀堂での木念仏、山主の法話、清掃奉仕の後、写経を務められました。



4月2日敦賀市文化交流部織田部長(中央)、西川政策幹と面談

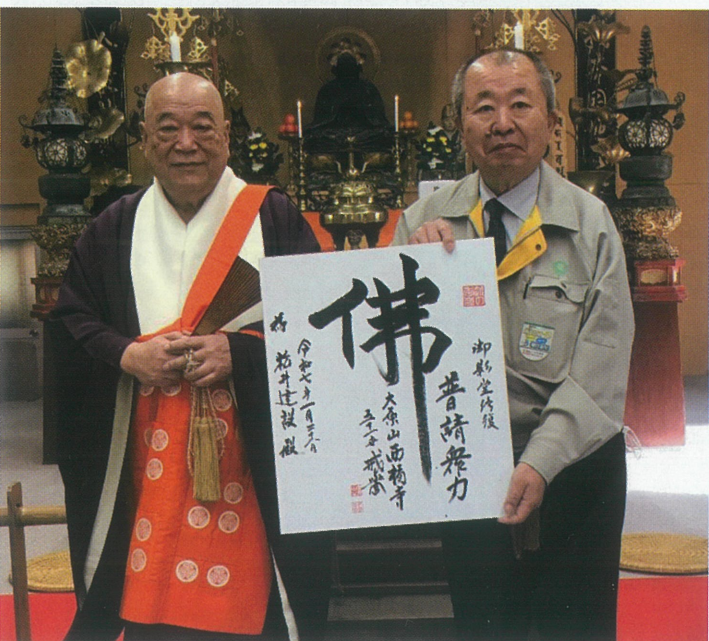


2月25日、3月14日、文化庁の指導をいただきました

【掲載など】〇「福井県広報誌」2月号に、R6年10月開催デジタル虫干し、同11月開催御影堂修理工現場特別見学会が掲載されました。〇福井新聞情報冊子「とんと」の味噌特集に西福寺掌前味噌が掲載されました。〇FBCテレビのニュースで、上記の日本 PS の新入社員研修会が取り上げられました。



2月23日、原地区ふれあい会館地鎮式並びに起工式が、大雪の為お原の里にて行われました。



1月28日、松井建設北陸支店の安全祈願が、全国から駆け付けた関係者30名で厳粛に執り行われました。法話の後には、佛天の御加護を祈願した山主直筆の色紙が山田彰支店長に手渡されました。

令和7年10月17日〜11月30日予定 敦賀市立博物館特別展 市内の仏像・仏画・経典などの展示に西福寺も協力しています。

編集兼発行人・二橋 信玄 発行所・敦賀市原十三-七 西福寺寺務所 電話 0770-22-3926 fax0770-22-4989 メール・saifukuji@clock.ocn.ne.jp

◎各種教室あります↓ヨガ・書道(各月2日) 問合せは西福寺寺務所まで